

令和4年度第1回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和4年5月25日(水) 午後2時～午後3時

場 所 保健センター1階 大会議室

出席委員 16人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 横 山 英 吏 子 委員

委 員 妹 尾 和 子 委員 太 田 篤 胤 委員 伊 熊 和 也 委員

委 員 北 脇 理 恵 委員 井 上 正 子 委員 服 部 聡 委員

委 員 萩 原 英 幸 委員 桜 井 努 委員 保 谷 匠 委員

委 員 松 本 祐 子 委員 中 谷 行 男 委員

欠席委員 0人

事務局職員

健康課長 石 原 弘 一

健康課係長 永 井 桂

健康課主任 近 藤 仁 美

健康課主事 矢 島 幸 子

傍 聴 者 0人

(午後2時 開会)

○事務局 皆さん、こんにちは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

現在、窓を開けて冷房を入れているのですが、暑いですか。大丈夫ですか。あまり暑いようでしたらもう少し温度を下げます。今日は上で3歳の健診が行われています。ドアを開けているので騒がしいことがあるかもしれませんが、御了承ください。

では、令和4年度第1回小金井市食育推進会議を始めたいと思います。

今日は新たにメンバーになった方もいらっしゃいますので、後で自己紹介等どうぞよろしく願いいたします。

○石原課長 では、定刻前ですけれども、おそろいでございますので始めさせていただきます。改めまして、皆様、こんにちは。お忙しいところ本日は御出席を頂きまして誠にありがとうございます。

今回が新しい委員構成になりまして初めての会議でございますので、会長が決まるまでの間、私のほうで進行を務めさせていただきます。健康課長の石原と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これより会議のほうを開会させていただきますが、まず初めに委員の出欠状況と資料に関して事務局のほうから報告、説明をお願いいたします。

○事務局 本日の委員の方々の出欠でございますが、今日は全員の方が出席されています。この会議は、委員の過半数以上の出席で成立となりますので、今日は成立いたします。それから、次に配付資料の確認をいたします。本日机上に配付させていただいたものとして、委嘱状、それから、小金井市食育推進会議委員名簿、次第、資料1小金井市食育推進会議の運営等について、ら、資料2食育コーディネータ運営規則、資料3令和3年度食育コーディネータ実績、それから、小金井市食育ホームページのチラシ、これはカラーです。最後に、小金井市民の歯と口の健康2022の8種類。

それから、第4次小金井市食育推進計画につきましては皆さんに郵送等で配付させていただきましたが、今日は閲覧用のものを置いておきましたので、何かありましたら御覧ください。会議が終わりましたら机の上に置いたままにしておいていただければと思います。

あと、皆さんに計画本体と概要版と一緒に送りいたしました小金井庭先直売所マップにつきましては、経済課及び小金井市観光まちおこし協会のほうから発行されたものになりますので、何かの参考にしてください。本日及び郵送の配付物について過不足等ございましたら、事務局のほうにお願いいたします。よろしいでしょうか。こちらからは以上です。

○石原課長 それでは、皆様には、小金井市食育推進条例に基づきまして小金井市の食育推進委員を委嘱させていただきました。お引受けいただきまして誠にありがとうございます。

皆様、御多忙の中、本市の食育推進のために貢献していただけること、また、小金井市の食育の取組に当たりまして、委員の皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日配付いたしました委嘱状にありますとおり、皆様の任期につきましては令和4年2月1日から令和6年1月31日までの2年間ということになります。

本来であれば、市長から委嘱状の交付を行うところでございますけれども、リバウンド警戒期間のほ

うは終わったところでございますが、いまだコロナの感染拡大に注意を払う必要があるというところで、略式で皆様の机の上に配付とさせていただきますことを御了解いただきたいと思っております。

それでは、自己紹介なんですけれども、私が名前を知っている方から時計回りということで恐縮なんですけれども、井上さんから時計回りで自己紹介をお願いしてよろしいでしょうか。

○井上委員 社会福祉協議会のほうから出てまいりました井上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○北脇委員 小金井市小中学校PTA連合会から参りました北脇と申します。よろしくお願い致します。

○保谷委員 小金井市商工会代表で来ました保谷と申します。よろしくお願い致します。

○服部委員 小金井の歯科医師会に所属しております服部と申します。よろしくお願い致します。

○萩原委員 小金井の農業振興連合会で、小金井で農家をやっています萩原です。よろしくお願い致します。

○桜井委員 J A東京むさし小金井支店、指導経済課の桜井と申します。どうぞよろしくお願い致します。

○伊熊委員 小金井市立東小学校で栄養教諭をしております伊熊と申します。よろしくお願い致します。

○中谷委員 小金井市の福祉保健部長をしております中谷と申します。どうぞよろしくお願い致します。

○太田委員 城西国際大学の薬学部で食品機能学を教えております太田篤胤と申します。どうぞよろしくお願い致します。

○妹尾委員 一般市民の妹尾と申します。よろしくお願い致します。

○牧野委員 公募市民でやって参りました牧野まやと申します。今は週数回なんですけれども、東京医科歯科大学で事務補佐として働いています。よろしくお願い致します。

○雀部委員 小金井市内で料理教室を20年ほどしております雀部と申します。よろしくお願い致します。

○横山委員 市民の横山英吏子です。中2と小5に子供がいます。よろしくお願い致します。

○山岸委員 実践女子大学で給食経営管理のほうを教えております山岸博美と申します。どうぞよろしくお願い致します。

○松嶋委員 松嶋あおいと申します。小金井市では農業委員と、このほかに食育ホームページの編集にも触れさせていただいています。食と農の問題を皆さんと共有したいと思っております。よろしくお願い致します。

○松本委員 多摩府中保健所の管理栄養士の松本と申します。よろしくお願い致します。

○石原課長 皆様、ありがとうございました。

続きまして、食育推進会議の事務局のほうを紹介させていただきたいと思います。

私の隣におりますのが健康係長の永井でございます。

○永井係長 永井です。よろしくお願いします。

○石原課長 その隣が主任の管理栄養士、近藤になります。

○事務局 近藤です。よろしくお願いいたします。

○石原課長 それから、事務の矢島になります。

○事務局 矢島です。よろしくお願いします。

○石原課長 ありがとうございます。

それでは、会議につきましての簡単な説明でございます。会議でございますけれども、別紙1、小金井市食育推進会議の運営についてということで、会議の基本的な事項をまとめたものを資料1番として、会議の決まりのようなものをまとめさせていただいておりますので、お時間があるときにお目通しいただければと思います。

また、本来であれば、小金井市の会議について、公開でございますので、傍聴者の受入れなども行うところでございますけれども、会議室も狭隘で、皆様方、委員の御臨席だけでいっぱいになっているところもございますので、引き続き感染への警戒というところで、現時点では傍聴のほうは中止という扱いを継続させていただいております。

それから、今年度から第4次的小金井市食育推進計画というのが策定されて、計画期間に入りました。皆さんの机上に空色の冊子のほうを置かせていただいております。こちらのほうが小金井市の食育推進の基本的な計画ということで、版を重ねて第4次となっておりますので、こちらのほうが小金井市の食育を進めていく上での基本的な道しるべとなる計画でございますので、皆様も御注目いただければと思います。

それから、私のほうから、食育の簡単な御説明というところで、こちらの空色の冊子の53ページのところに、小金井市食育推進条例という市の決まりなんですけれども、そちらが資料として書かれています。こちらの中段の辺りに、小金井市は、小金井らしい食生活のある「野菜」、「団らん」、「ふれあい」、「環境」をキーワードとしたK o g a n e i - S t y l e というものを実現させようという、これを理念としてこちらの条例が策定されております。市の決まり事でK o g a n e i - S t y l e みたいな言葉が入るというのはちょっと珍しい市のルールなんですけれども、こちらは小金井市議会の議員さん方がいろいろ意見をすり合わせてつくられたものでございます。

それから、こちらの条例の56ページのところに、第3章、推進体制というところの第14条に推進会議というのがありまして、こちらの食育推進会議のことはこちらの条例の中で決められてございます。

皆様方の役割といたしまして、市長の諮問に応じて、推進計画の作成及びその進捗状況の検証を行うとともに、必要な推進策を検討して、市長に意見を述べることもできるというふうにございますので、皆様方の自由闊達な御議論のほうをお願いしたいというふうにございます。

簡単に食育推進会議の役割などについて私のほうで述べさせていただきましたが、私のほうからは会議の前段の説明とすると、以上でございます。

これだけの説明でこれから会議の進行とかを決めていただく会長さんを決めるのに十分かどうかというところはございますけれども、これから2年間、会議の進行のほうを中心になって担っていただくこちらの会議の会長さんのほうを決めさせていただきたいと思ひます。

会議の会長の決め方として、立候補あるいは推薦というような方式がございます。もし立候補という、自分がやる意思があるという方がいらっしゃれば、それは一番尊重すべきところかなと思ひますので、まずは、自分が会長をやりますという方がいらっしゃったら挙手をお願いしたいと思ひますが、いかがでしょうか。

そうすると、立候補がなければ推薦という形になりますけれども、どなたか推薦というところで、実は前会長であった南先生が、小金井市の審議会の委員というのは基本的に3期6年までを基本としてお務めいただくというところで、前期は計画の改定がありましたので、例外的に4期8年務めていただいたところなんですけれども、任期を終えてここで御退任をされまして、それから、南先生の後任として実践女子大学の山岸先生の御推薦を頂いたというところでございます。そういったところの前段、それから、副会長として松嶋さんも前期、務めていただいたというところもございますけれども、そういった中で、この方、会長をお願いしてはというような御意見ありましたらお願いしたいと思ひますが、いかがでしょうか。では、どうぞ。

○横山委員 横山です。私、実は山岸先生とは、昔、私、富山県の県職員で勤めていた時代に、山岸先生、そのとき、富山県の教育委員会の食育を担当される場所のトップにいらっしゃった方なので、ふさわしいんじゃないかなというふうに思ひます。

○石原課長 いかがでしょうか。今、山岸先生を御推薦する御意見いただきましたけれども、異論がなければ、皆様、拍手で御承認いただければと思ひます。

(拍 手)

○石原課長 では、御承認賜りましたので、山岸先生から一言御挨拶を頂ければと思ひます。

○山岸会長 失礼します。今ほど御推薦いただきました実践女子大学の山岸でございます。今年度よりこの委員をさせていただきました。本当に委員の皆様のお力を頂きながら、よりよい会議となるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○石原課長 では、以降の副会長の選任のところから会長の御進行でお願いしたいと思います。

○山岸会長 それでは、私の司会で以後、進めさせていただきます。

それでは、次に副会長の互選についてです。こちら、委員の中から互選によって定めることになっております。まず、ぜひという方がいらっしゃいましたらお声を上げていただければ幸いです。いかがでしょうか。

御意見がないようでしたら、私のほうから指名ということでよろしいでしょうか。

それでは、前回の食育推進計画の策定の御経験もある松嶋委員にお願いしてよろしいでしょうか。

(拍 手)

○山岸会長 賛成多数なので、松嶋委員、どうぞよろしくお願ひいたします。

○松嶋副会長 よろしくお願ひいたします。

○山岸会長 一言御挨拶をお願いできましたらと存じます。

○松嶋副会長 先ほども申し上げました松嶋あおいです。今後ともよろしくお願ひします。

私、公募委員から、前回、また、学識経験者枠ということで長くさせていただいておまして、推進計画の第3次ぐらいから関わらせていただいているので、今後もこの計画に沿っていろいろ皆さんと情報共有をして食育を広めていきたいと存じます。今後ともよろしくお願ひいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。大変心強く思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、まず意見提案シートについて事務局からお願ひいたします。

○事務局 今回、意見提案シートの提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

続きまして、議題に移りたいと思います。

次に、小金井市食育コーディネータについて事務局からお願ひいたします。

○石原課長 小金井市の食育推進基本条例の特徴として、小金井市において小金井市食育コーディネータを任命するという制度がございます。こちらについては、過去からの議論で専任の外部の委員さんの食育コーディネータなどを任命すべきというような御意見もあったところでございますけれども、それに必要な予算の確保など、事務局側で進んでいないところもございまして、これまでの経緯とすると、小金井市のこちらの委員の中で福祉保健部長の中谷のほうで常勤の職員であるということ、また、組織的なバックアップとして健康課の職員を指揮して食育コーディネータの任に当たらせることができるということで、以前からの経緯からいたしますと、食育コーディネータについて、こちらの委員の中から福祉保健部長のほうを任命しているというのが過去の経過でございます。以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からの御説明について、御意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、食育コーディネータは従来どおり福祉保健部長でお願いいたします。

では、次にそのほかについてです。

最初に、資料にある小金井市食育ホームページについてです。

こちらは雀部委員が副編集委員長をされているということで、説明のほうをお願いいたします。

○雀部委員 雀部です。今、御紹介にあずかりましたように、食育ホームページの副編集長のほうを務めております。

こちらのホームページは、こういう地方公共団体ではちょっと珍しい形なんですけれども、市民のボランティアによってつくられている食育に特に特化したホームページというふうになっております。2009年よりホームページのほうを開始いたしましたので、かれこれ長い歴史にはなるんですけれども、一度御一読いただけたらなというふうに思うんですけれども、その導入として、今回、チラシのほうを健康課の方に配付していただきました。そちらのほうを御覧になっていただければと思います。カラーのチラシのほうです。

Koganei-Styleの「野菜」、「団らん」、「ふれあい」、「環境」の4つを意識したつくりとなっております。市民の方に分かりやすく、あと、簡単に取り入れやすく食育を身近に感じていただけたらという趣旨の下、数名の食育ホームページ委員の会議を毎月1回しております。その中でいろいろ内容等について話し合い、ホームページのほうにいろいろアップしています。

主な内容としましては、「野菜」ということでいくと、野菜のレシピの公開をしております。こちらは、市民の委員のアイデアを基に、家庭などでも作りやすいもの、あと、手順が簡単なもの、それから、小金井市内で手に入るものとしたしまして、JAで売られている野菜をなるべく使ったものということで、少数多品目の特性を生かしてレシピのほうを現在150種類ほど上げているので、かなりな数になるとは思いますけれども、年数を重ねてこのぐらいの数になっております。特に、使い方が分からない野菜などありましたら、ぜひ参考にしていただければなというふうに思います。

あと、「団らん」、「ふれあい」、あと、「環境」のほうについては、それぞれの記事に特化した職種の者が、以前、職種を務めていた者がおりますので、そういう者の意見を取り入れて、記事として様々なものを上げております。

あと、もうちょっとフランクな形ということで、食育ホームページの中に食育ブログということで簡単に記事を上げられるような機能もついておりますので、もっと身近なものを皆さんに読んでいただけたらということでブログのほうのアップと、あと、毎月、食育に関する出来事、市内で行われているイベント、講習会等の食育に関する出来事を、お知らせという形でイベントスケジュールのほうをアップ

させていただきます。

昨年のもになるんですけど、「おうちでつくろう・おうちで食べよう」というのは、コロナで皆さん、おうちに閉じ籠もりがちなので、その中で、食をもっと気軽に楽しんでいただけたらということでこのようなチラシを配布いたしました。

これが導入となって、QRコードで簡単に食育ホームページのほうを閲覧することができますので、こういうチラシをきっかけにいただければということで、コロナ禍でちょっとイベントは少なかつたんですけども、例年、キッズ・カーニバルや歯と口の健康のイベントなどでチラシのほうを配布させていただきます。

食育ホームページ、あまり知られていないので、ぜひ皆さんにPRしていただきたいと思います。

平成26年には、「早寝早起き朝ごはん」運動の推進で文部科学大臣の表彰も受けております。

あと、様々な方に関わっていただきたいので、ホームページの委員も随時募集しておりますので、関係機関の方、あと、お知り合いの方ですとかに声をかけていただいて、難しいことはあまりやっていないので、気軽に参加していただけて、いろいろな方々が関わっていただけることが、ひいては食育のレベルアップにつながると思いますので、どうぞ、募集をかけておりますので、御興味のある方はよろしくお願いいたします。以上になります。

○山岸会長 雀部委員、ありがとうございました。

今ほど、詳細に説明を頂きましたけれども、何か質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。また、御意見等もございましたら、ぜひこの場をお借りしまして、何か聞かせていただければと思います。いかがでしょうか。

井上委員、お願いします。

○井上委員 希望としまして、最近の高齢者はパソコンを使ってホームページを見ますので、高齢者で簡単に作れる、今、コロナの時代であり、最近は行くようになりましてけど、買物もできないでうちであるものを作って、これどうしようと思っている人が多いんですけど、簡単に作れる、短時間でできるものを何か幾つか紹介していただけたらというふうには思う。

○雀部委員 食育ホームページのレシピも大体基本的には手順は3つぐらいの手順しかないものが多いので、見ていただくと、より簡単に作れるものもあるんですけども。

○井上委員 ちょっとまだ見ていないので、申し訳ありません。

○雀部委員 簡単に言うと、野菜が毎回テーマにありまして、野菜の簡単レシピという御紹介の方法を取っておりますので、簡単、今で言うと、今の時期、一番新しいものでは松嶋委員がちょうどレシピを上げていただいたものがあるんですけども、ミズナと豚バラをさっと……、御本人に今説明いただい

ていいですか。

○松嶋副会長 このホームページなんですけれども、雀部委員と今は交替で毎月上げています。昨日のレシピで言いますと、JAさんのムーちゃん広場のほうで、ミズナと、それとあと、今、ゴールデンポークだったんですね。ちょっとTOKYO Xのつもりでいたんですけども、ゴールデンポークだったということでちょっと訂正したんですけど、JAで買って、白だしもJAで買ったものなので、JAで買ったものしか使っていないお料理になるので、行っていただいて、買っていただいて、それでさっさと作っていただけるという、15分ぐらいでできる。

お鍋にミズナを切って、豚バラを入れて、白だしとお酒とお水を入れて煮ただけのものになります。あと、シメジですかね、ちょっと入れていますけど、本当に簡単で、副菜になると思うんです。

その前に、雀部さんが創っていただいたものが。

○雀部委員 コマツナとカニカマを、ちょっと酸味のあるような中華ドレッシングのような味つけで和えるものですね。どうしても和風の使い方が多いのと、あと、彩りが、ほかのものは茶色いものが結構主役になるものが多いので、彩りを加えるということで、緑と赤が入るので食卓が華やかになるかなと思います。

いつもお浸しばかりという、そこにちょっとたんぱく質をプラスすると、高齢者の方も気軽にたんぱく質を摂取できるので、脂っこいものだけではなくて、そういう取り入れ方もあるかと思います。

○井上委員 今後ともよろしくお願いします。

○雀部委員 よろしく願いいたします。

○松嶋副会長 あとは、ハヤトウリであるとか、あと、なかなか人が買わないような野菜をできれば使って、JAで売っているものを、珍しいなと思うものを増やしていつているので。

○井上委員 JAで見ても、これどうやって作る、使うのかみたいなものもあると思うので。

○松嶋副会長 そうなんですよね。どうやって使うのかしらって言われて横で話すことも多いんですけども、JAにもいろいろレシピも置いてあるかと思いますが、食育のホームページのほうも見ていただければと思います。

○井上委員 よろしく願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。今、高齢者の方でもパソコンのアクセスがとても長けているらしいけど、ちょっと私、どちらかというとまだ不得手な部分もあるので、アクセスがしやすいようなやり方だとまた本当に閲覧の方も増えていいのではないかなというふうに思っています。ありがとうございます。またほかに何か。

お願いいたします。

○北脇委員 北脇です。私もこれ、よく見させていただいて、いつも参考にさせていただいています。ありがとうございます。

こちらですが、今、スマホで調べて検索のところを見ると、小金井食育って書いてあってとても分かりやすいんですけど、それで見ると2つ出てきて、英語でKoganei-Style-小金井というもの、小金井市食育ホームページKoganei-Styleと英語で書いてあるもの、2つ出てくるんですね。それぞれ押すと、出てくる画面が違いますよ。

いつもこれにちょっと困ってしまうというか、多分何かシステムとかの関係もあるので統一するのは難しいとは思いますが、そこまで求めているわけではないんですが、できれば、ここの後ろに英語で、小金井市食育ホームページKoganei-Styleまで書いていただくと、どっちに飛んでも正解、似たようなのではかのページなのかなと思ってしまうので、せっかくなので、小金井市食育という言葉も大事なんですけど、Koganei-Styleも一緒に広めていただいたら、より定着の度合いが増すのかなと思いますので、お願いします。

○山岸会長 ありがとうございます。一つ間違えると、何か違うと、ちょっと違う方向に行っちゃってというようなことがあるので、これはQRコードからも入れるとは思いますが、せっかくそのような素晴らしい内容があるので、1人でも多くの方に閲覧して、利用していただけるとうれしいなと思います。

○雀部委員 ちょっと説明させていただいてもよろしいですか。

○山岸会長 お願いします。

○雀部委員 今、早速検索をしてみたところ、小金井市食育ホームページKoganei-Styleというほうは旧サイトでありまして、新しいシステムに移行したんです。新しいシステムに移行したほうが実はKoganei-Styleというのが前面に来ている、こきんちゃんマークがついているサイトのほうが今使っている現行のサイトになります。

なぜ旧サイトを残しているかという、システムの変更によって全部の内容を移動できなかったものが一部残っておりますので、しばらく数年は残しておこうということになって、そういう内訳を分からないのでちょっと混乱させてしまって大変申し訳ないんですけども、特にレシピとかではなく、レシピはほとんど移動は終わったんですけども、記事のほうでやっぱり一部移動できないものが、システムの関係上、移動できないものがありまして、そちらのほうを数年残しておくという形になっておりまして、ちょっと混乱を招いてしまったので、次のチラシからは分かりやすいようにしておきますので、申し訳ございません。

○北脇委員 もう一つだけいいですか。

○山岸会長 はい。

○北脇委員 北脇です。Koganei-Style-小金井市のやつが動いているものだと思っていましたね。こちらのほうが見やすかったので、私、こちらを見ていた、見やすいというか、見たときに画面が違うので、写真がいっぱいある華やかなほうをついつい見てしまっていたんですが、その中の、あれこれ食育ブログを押すと、もう契約されていないみたいでエラーメッセージみたいのが出てきて、後で、終わった後にお伝えしようかなと思ったんですが、それもそういった理由からということでしたら、何かそこで勘違いされる方がいるとちょっともったいないかなと思うので、何らかの形でその表記をしていただく、このブログが使えないという意味ではなくて、こちらは旧サイトですみたいな形で何か、システムの都合上、できることとできないことはあると思うんですが、御検討いただくとありがたいです。以上です。

○雀部委員 次回の編集委員会のときにそちらのほうを提案させていただきますので、早速反映しますのでよろしくをお願いします。

○北脇委員 ありがとうございます。

○雀部委員 あと、旧サイトのほうに何か新サイトに飛びますみたいなのを入れたかったところだと思うんですけど、それが多分システム上、かなわずに、検索上、上に出てきてしまうのは、これは検索が多いということなんです。私たちができることではないんですけども、こちらのほうを検索どんどんしていただければ順位が上がって行って上のほうに出てきたらいいなと思っている次第です。

編集委員で手作りでやっていますので、またいろいろ御意見いただければと思います。ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。ぜひ、旧サイトから新サイトにテイクできるように、また、そういうことによってアクセス数が多くなって活発になることを期待したいと思います。

どうでしょうか。今ほど、JAのお野菜の話も出ましたけど、もし何かPRされるようなものがあればぜひお願いできますでしょうか。

○桜井委員 こちらのサイトでJAのものを使っているということで大変励みになりまして、店舗のほうでもしっかりお伝えしていこうかなと思います。

また、なかなか使わない食材を手にしたときということなんですけど、パート従業員にもそういう品物、小金井で作られているものについては、こういうレシピがあるよ、こういうもので使えるんだよというのは、しっかりお客さんにも説明できる環境を店舗として充実させるというのもやはり大事なことでとはもちろん思っておりますので、そういうのをしっかり伝えられるような店舗により一層していくことを心がけて運営はしてまいりたいと思います。

また、平日頃より小金井産のお野菜をお使いいただいていること、ありがとうございます。また引き続き頑張ってもらいますので、よろしく願いいたします。取りあえず以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

ホームページについて様々な意見を今いただいたところですけど、どうでしょうか、まだ何か。これを実際に活用したけど、このような反応がありましたとか、何かございましたら。

では、次の議題に行つてよろしいでしょうか。

それでは、次に小金井市民の歯と口の健康2022についてです。

服部委員、よろしく願いいたします。

○服部委員 このチラシを御覧なつていただけたら分かると思います。6月5日という日程ですけれども、本来、これは6月4日、昔からある虫歯予防デーであります。

御覧のように私、歯医者になってかなり年数がたつておりますが、僕が歯科医師になつた当座は、昔はそれこそお子さんの乳歯も当然、それからまだ生えたばかりの永久歯なんかも虫歯だらけでして、しかもかなりもう学校の健診なんかに行くと、何でこんなになるまでというような状況、進行度が非常に重篤だつたわけで、何とかこれを収めなくちゃということで昔の虫歯予防デーというと、虫歯の予防というのを主体に考えていろいろとイベントなり、行動、啓蒙活動なりやつてきたわけですが、皆さん御存じだと思いますけれども、かなり今は小学校の健診なんかに行きましても、虫歯が非常に数自体が減つていますし、また、進行度も非常に軽度のものでとどまっています。

やつとこういう状態にまで来たかということなんですが、ただ、歯というのは基本的に物をかむ、そしゃくですね、それから、ごくと飲み込むという、そしゃく、嚥下という一連の機能の中の一つの構成要素にすぎないわけでして、物をかむためには、歯だけじゃなくてべろの動き、ほっぺたの動き、それから、ごくと飲み込むときはこの動き、喉、いろんな要因が重なってきますので、そのところに若干問題のあるお子さんもいらっしゃるし、あるいは、先ほど高齢者というお話が出ましたけれども、最近、脳血管疾患、脳梗塞等によって、後遺症で麻痺が残っちゃう方。よく、杖をついて一生懸命歩いている高齢者の方がいらっしゃいますけれども、ああいう方はもう物をかむ、飲み込むという機能も非常に低下してきます。

最近では、そういったそしゃく、嚥下というものにターゲットを絞つて研究、それから、臨床を行っている歯科医も、特に東京では随分増えてきました。そういう状況なので、単に虫歯のことだけではなくして、物を食べるためのそしゃく、それから、嚥下ということに関してかなり突っ込んで展示等も行われますので、興味のある方はぜひ足を運んでいただければと。

中に、我々小金井歯科医師会の会員、何人も詰めておりますので、何か疑問に思つたこととかあれば、

捕まえて質問していただければ。本人、分からないで答えられなければ、ちゃんと調べてくると思いますので、そのところよろしく願い申し上げます。以上です。

○山岸会長 服部委員、ありがとうございました。

この件に関しまして質問のある方いらっしゃいましたらお願いいたします。

昔は、6月4日から歯のかみかみ週間とか、よく給食とかいろんなところでもそしゃくを意識した献立を提供したりとか、あと、今、高齢者のそしゃくはいいんだけど、口腔ケアというのかなり重要視されてきたように思います、本当に。食べるということは生きることに直結というようなことで、本当に全世代、全てにやっぱりこういった歯と口の健康というのは普及していくことが大事なかなというふうに思っております。

○服部委員 あえて追加させていただくならば、内科の医師の話聞いたあれですけども、入院している患者さんが点滴だとか、それから、中心静脈栄養からもかなり栄養成分の高いものを入れて管理されていくわけですけども、それを終わりにして物を食べ出すと回復が非常に早いんだという、それは経験則として感じていらっしゃるということをおっしゃっていたのをちょっと耳にしたこともありますので、お子さんだとか、普通に健康に暮らしている方だけじゃなくて、そういった何かしらハンディを持った方についても、やっぱり食育というのは重要なことじゃないかなというふうな思いがしております。以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。どうでしょうか、今、そういった、多分、施設や病院から退院された方でも、ちょっとそしゃく、嚥下が難しいという方が家庭でどういったものを食べようかというようなところも、ちょっと悩みの一つもあるという、そういった方もいらっしゃるんじゃないかなと思いますし、こういった歯と口の健康で今お話、議題になっていますけれども、せっかくいろんな立場の委員の方がいらっしゃいますのでお聞かせいただければと思いますが、いかがでしょうか。

お願いします。

○北脇委員 北脇です。私は小中学校PTA連合会の代表で来ておりますが、小学生の親を代表してなんですけど、今、小学生の低学年でとても皆さん興味があるのが、床矯正といって、もちろん先生御存じだとは思いますが、すごく聞かれます。クラスの半分以上の方が矯正をしていて、私の子供時代はワイヤーだったんですが、そうではなくて、かちってはめる何かマウスピースみたいなもので、それでねじで回してちょっとずつ間を空けて、その中でよく言われるのが、やはりそしゃくの話。よく、ここの歯を使って食べることが大事とか、あと、舌をぐるぐる回す体操だったりとか、あいうべ体操だったりとか、そういうことがすごく今のお子さんには、床矯正に興味がある方が多いので浸透しているんです。

うちの子も2人、今、中学校2年生と小学校4年生なんですけど、2人ともしましたし、ママ友には、会った方ほぼ全員に聞かれます。「どう？どこがいい？」とか、あとは、「いい体操ない？口の体操ない？」みたいなことを聞かれて、すごく今の方って、お子さんも含めて、かむということに注目しているので、子供の頃からそういう教育が行き届いていると、大人になって高齢のほうになっても、やはりすごく大事なことだと思うので、かむということを意識したことを進めていただけるとすごくいいと思います。今、小学生の親はとても興味があるので、何かのイベントのときに、ちょっとキーワードでそういうことを入れていただくととてもありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

○山岸会長 ありがとうございます。今、PTAの方の立場から小中学校のというようなことで聞かせていただきましたけど、せっかく小学校の栄養教諭の先生もいらっしゃいますし、何か学校でしゃくからのアプローチ、何かされていることをちょっと伺えましたら。

○伊熊委員 かむことについてですね。

○山岸会長 ですね。そのほかでも大丈夫ですけども。

○伊熊委員 学校では、給食では食べやすいものを作ることはしているんですけども、先ほど先生もおっしゃっていたかみかみデー、6月4日ぐらいになると歯を意識した、かむことを意識したかみ応えのあるものを用意したりすることもあります。

それから、今はコロナ禍から、給食時間では子供たち前を向いて、今までグループで給食を食べていたんですけども、今では前を向いて黙食で食べることをしています。目の前にある給食に意識を集中させて食べるということをしています。

それから、献立で言いますと、本校では和食中心のメニューだったりとか、米中心のメニューを出すようにしています。それ以外にも、旬の食材を使ったり、JAさんに協力していただいて地場野菜をたくさん給食で使うようにしています。

献立の内容で、献立で言いますと、11日、19日、24日にはそれぞれ、箸の日とか、19日で食育の日、それから、24日、日本食で和食の日というふうな言葉遊びのようなものでかけておまして、それぞれ、11日、箸の日だったら箸を使うメニューだったりとか、その日にまつわる献立を立てるようにしています。

それから、月に1回、外国の料理を用意するようにしております。和食だけではなく、海外の料理に目を向けさせて、どういったものが食べられるんだろうという子供たちの興味関心をそそるような献立を立てるようにしております。給食時間については以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。コロナになってから黙食という新しい言葉が出て、いつになったらまた和やかな食事時間ができるんだろうと思いつつも、まだ、まだまだという状況ですね。その

中で、自分と食事と向き合って、あるときには自分が何回ぐらいかんでいるのかなというふうには、何かそういった再認識をしてもらえることもいいのかなというふうに思っております。たくさん御意見いただきましてありがとうございました。あと、ほか何かありませんでしょうか。

お願いいたします。

○松嶋副会長 ありがとうございます。新しく駅の近くにわくわく都民農園ができました。この間、萩原さんと一緒にセミナーを、野菜の植付けのセミナーをさせていただいたりしています。それについて、萩原さん、何かお知らせがてらお話どうでしょうか。ランチができたりもするので、皆さんに行っていただきたく、JAのお野菜とかもありますね。お願いします。

○萩原委員 わくわく都民農園とって、武蔵小金井の北口のほうで市民農園をやっております。一応私たち農家の後継者団体で、今、講師のほうをやっております。そこで教えながら、私どもも土日、日曜日か、に松嶋さんなんかと行ってもいろいろほかの市民宛てにイベントをやっていたりとか、平日はそこでランチのほう、野菜を使ったランチなんかも作ってもらっていますので、ちょっと御注目していただければ。

まだちょっと出だしでなかなかうまくイベントも回っていないんですけども、これからイベントのほうも盛りだくさんでやっていきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

○山岸会長 ありがとうございます。少しずつイベントがまた行われるようになるといいかなとふうに思っております。

あと、どうでしょうか。もしかすると歯から外れても、せっかく御参加いただきましたので、御発言、御意見いただけるとありがたく存じますが、どうでしょうか。

○横山委員 横山です。うちの子も小中学生なので、やっぱり歯の矯正、回すタイプの矯正をしていたんですけども、何か御飯は普通に作っていたんですけど、おやつを食べるときにかみ応えのあるものを出したいなというふうに思ったり、何か中学生の子なんかは、どうやったら勉強が頭に入るかというのを、何かかんでいるときとかすごく脳にいらいしいとかいって、グミを食べたがるんですけど、何かそういう情報みたいなのもあるとありがたいなというふうに思います。

○山岸会長 ありがとうございます。勉強するにも、スポーツで歯を食いしばるとか、スポーツ選手も歯に関してはすごく意識高くメンテナンス等々をされているというようなこともありますので、ぜひこの歯と口の健康2022がいろんな意味での波及の場になることを願っております。

ありがとうございます。ほか、よろしいでしょうか。

お願いいたします。

○松本委員 保健所の松本です。よろしく申し上げます。小金井市さんはすごく農地も多くて、たくさ

ん野菜が取れるのかなというところで、今、最新の国民健康・栄養調査の結果が出ていますが、それが令和元年度ということで、コロナ前ではあるんですけども、この中から東京都民の結果を抜き出したもの、都民の健康・栄養調査というものの結果が出ています。

この結果ですと、1日野菜350グラム取るといいよというふうに言われているところなんですけれども、なかなかこれだけ取っている方は少なく、男性、女性ともに大体3分の1ぐらいしかこれを取れていないという状況があります。平均の摂取量で言うと、男性も女性も300グラム前後ということになっています。なので、大体50グラムぐらい足りないという形となっています。

せっかく地場産物としても野菜がたくさん取れますし、先ほど御紹介いただいたホームページの中ですごく野菜を使ったメニューがたくさんアップされていて、非常にいいなというふうに思いました。皆さんで協力して野菜の摂取量を増やしていけるよう、野菜って結構かむことにもつながると思うので、この辺のところからもつなげていけるといいなと思いました。

ちょっと意見という感じなんですけど、以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。なかなか350って難しいけど、あと1皿というふうに、プラスワンじゃないですけど、あと1皿の何か提案とかもしていけると本当に、Kogane i - S t y l e としてますます地場産のお野菜と、また、いろんな食育と絡めていけるのかなというふうに思いました。ありがとうございます。

どうでしょうか。

○石原課長 そうしましたら、公募の委員さんで、今期から出た方、ちょっと発言しづらかったりとかするものもあるのかもしれないですけど、感想だったり、何かこれからやってみたいこととかいただいて、今後の推進会議の議題とかにつなげていければと思います。

○山岸会長 では、そのような御提案ありましたので、今年度から委員になってくださった委員からお願いいたします。

○牧野委員 ちょっと質問が何点かあるんですけど。

○山岸会長 お願いいたします。

○牧野委員 ありがとうございます。伊熊委員にお聞きしたいんですけど、うち今、小学生がいないので、私たちの時代って、特に小学校時代、昭和の時代だったので、給食、絶対残しちゃいけないって、5時間目になっても6時間目になっても1人でいつまでも涙を流しながらずっと給食を食べている子とか、あと、アレルギーに対する配慮も全然世間的にも知られていなくて、誰もそんな何も対応しない。とにかく残すなという。今日、おなか、具合が悪いというのに牛乳を飲まされるとか、何かすごい時代だったんですけども、そういったのは、もう今は大丈夫で改善されて、個別対応されているんでしょ

うか。

○伊熊委員 答えさせていただきます。給食を残さないような指導というのは、もちろん、作ってくれた人に感謝するだとか、食べ物を食べられていることに感謝するという意味では、残さないようにしましょうね、食べられたらいいですねというのと、あと、自分1人分はこのぐらい食べると成長に必要な分なんだよということから、しっかり食べようねというふうには言うんですけども、給食時間を超えて休み時間まで食べさせるだとかはしておりません。その結果、学校に来られないという子がいるとやっぱりかわいそうなので、その辺は配慮しております。

○牧野委員 それはもう全国的になんてでしょうか。そういうの広まっているんですか。

○伊熊委員 ごめんなさい、本校の場合でお話しさせてもらっております。

○牧野委員 ありがとうございます。

○伊熊委員 それから、アレルギーに関しましては、各学級の担任にしっかり情報共有、情報提供して、各学級ではアレルギー対応があった場合には、色の違うお盆と食器で対応食を用意しまして、これは食べられませんというのが一目で分かる工夫をしております。

また、その日は異物というかアレルギーの混入を防ぐために、お代わりはなしにするだとか、それから、一番最初に配膳をするとか、そういった対応をして混入を防いでいます。

一番最初に多めに、お代わりが禁止されているので、多めに盛るようにはしているんですけども、その代わり、その子は残してもいいよ、全部食べ切れなくても気にしないでねというような声かけをしております。以上、よろしいでしょうか。

○牧野委員 ありがとうございます。

○山岸会長 昔は一律というようなところもあったけど、今はかなり個に応じた御指導やそういった食に対しての配慮をしてくださっているようです。せっかくなので、またこの会議でもいろいろ聞いていただければと思います。

あと、まだ質問、大丈夫でしょうか。

○牧野委員 あと、この小金井の直売所マップなんですけど、私、東小金井に住んでいますので、昔、東中の田中整形外科さんの道を挟んで向かいのJAさんで野菜をよく買っていたんですけど、何かいつの間にかなくなっている感じがあって、ここには載っていないんじゃないかなと思ったんですけど、廃止になってしまったんですか。

○萩原委員 これは直売所のほうなんです。

○桜井委員 一応、当初行っていただいたというところは、小金井東支店、もともとの金融店舗があったところで曜日を定めて直売ということでさせていただいておったんですが、店舗閉鎖並びに取壊し等

で直売を一回やめて、更地になった状態でまた再度執り行ったんですけれども、あそこが、今、倉庫という形で、店舗でもなく人がいない場所の敷地になってしまったので、そこでの直売はやめて、そこから東に真っすぐ行った東町シナノキ公園というところで……。

○萩原委員 シナノキじゃなくて、東小の前です。

○桜井委員 東小の前で火、金の10時、12時で直売をやらせていただいております。

○牧野委員 分かりました。ありがとうございます。

○山岸会長 よろしいでしょうか。

○牧野委員 はい。

○山岸会長 ありがとうございます。

あと、今年度から委員の……。

○太田委員 私でよろしいですか。

○山岸会長 お願いいたします。

○太田委員 先ほど御紹介させていただきました城西国際大学薬学部で食品機能を教えております太田と申します。このたび、定年も近づいてまいりましたので、といっても63歳なんですけれども、70まであるんですが、千葉の東金というところに大学があって、今、単身赴任中で週末に帰ってくるような状態なんです、そろそろ地元に戻ってきたときに何か役に立てるような足がかりをつくりたいなということで今回応募させていただいて、ありがたいことに委嘱していただきました。よろしく願います。

所属は薬学部なんです、教えているのは食品機能で、例えば機能性表示食品というのが最近すごくはやっていますけど、野菜とかも物すごく届出が出ていて、機能性表示食品に生鮮食品でもなっているというところもあって、その辺のところを面白がって教えているような状態なんです、そういった知識がもしかしたらホームページ等でもお役に立てるか、イベント等でもお役に立てるかなという、何か見つかればいいなというふうに、2年もありますので、何かください。

小金井に住んでいながら、大学は東京農工大学の府中のほうなので、この辺はずっとよく知っているんですが、あまり農地があるという印象がなくて、農業結構やっているんだなというのをこの会議に入れていただいて、いろいろパンフレットを見せていただいてようやく知ったという感じでございます。何かお役に立てることを見つけていきたいなと思っていますので、ぜひどうぞよろしくお願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。機能性食品とか、リコピンの多いトマトとかありますよね。

○太田委員 GABAとかリコピンとか。別にあれ、特別なトマトではなくて、通常のトマトでも届出

をして機能性表示をすることができるんです。特別なようなムードが醸せるというのが大変人気で。

1号目がミカンで、三ヶ日みかんが生鮮1号で届出受理されたんです。ただ、三ヶ日みかんだけがβ-クリプトキサンチンというものが多いいというふうに世の中勘違いした人が、で、一気に三ヶ日が有名になって、負けずとばかりに温州ミカンを作っているところはみんな登録したので、今、生鮮の中で届出が一番多いのはミカンです。その次がバナナです。

○山岸会長 バナナ？

○太田委員 はい。何かいろんなものが出てきているので、にぎやかで。効果を期待して食べるようなものでもないんですけど。

○山岸会長 でも、何か付加価値がついているようで、消費者はつついそうといったものに目が行って手に取ってしまうところがありますので。

○太田委員 いや、どうでしょうか。

○山岸会長 小金井市の野菜も負けていないと思いますので、ぜひそういったものをお願いながら。

ぜひ、せっかくこの委員になっていただいたので、何か一緒にしていければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○太田委員 よろしく願いいたします。

○石原課長 よろしければ発言を、何かあれば。

○山岸会長 もしよろしければお願いいたします。

○妹尾委員 妹尾です。例えば、イスラムの方に配慮した禁忌のものが入っていないものを提供するカフェとかレストランみたいなものは小金井にはあるんでしょうか。当然そういうのが必要なのかなというふうに考えています。

○山岸会長 禁忌食ですね。

○妹尾委員 例えば、小学校の給食とかでもイスラムの方のお子さんもいらっしゃると思うので、配慮しないといけないかなというふうに思います。

○山岸会長 何かこれに関して、こういうのをやっていますよという情報提供とか、何かどうでしょうか。

○北脇委員 連雀通りのところにワイルドチェリーというホテルがあって、そこがイスラムの方の何かお祈りする部屋とかも完備しているホテルで、そちらのほうにもしかしたら情報があるかもしれないので、そこもすぐく地域のために活動してくださってまして、この前は社会福祉協議会のほうに声をかけていただいて、福祉施設のお祭りみたいなものをしてくださって、駐車場を貸し出していただいて、このコロナ禍で福祉作業所の方が自分たちの物を売って生きがいを感じるみたいな、そういう提供の場

をしてくれたりですとか、あとは地域の何かそういうサロンをやっているママさんたちを集めてお祭りをしてくれたりとかもあるので、何か小金井市にも協力したいという気持ちがある方たちなので、今後そういうことを一緒に考えていくとかもいいのかと思います。

○山岸会長 食物アレルギーも表示されるようには大分なってきましたけど、そういった禁忌食ですとか、本当に多様な方々や文化にも寄り添った食育が推進できればなというふうに今御意見を頂いておりました。またこれからも活発な御意見をお願いいたしたいと思います。

では、これで本日の議事は以上で終了ということになります。ありがとうございました。

最後に、次回の開催予定についてと事務連絡があるようなので、事務局のほうからよろしく願いいたします。

○事務局 では、事務局からです。この会議につきましては、推進計画の57ページを読んでいただければ分かるんですけども、年4回以上開くということになっておりまして、大体今までの開催状況は、この5月が1回目、次が大体8月の終わり、その後が大体11月か12月、最後が1月から3月の間に1回みたいな形で行われています。

今回は、例年ですと8月の下旬ぐらいということなんですけども、また会長さんをはじめ、相談しまして、あとはうちのほうの事業日程もありますので、これをすり合わせて、候補の日を上げまして、皆さんにお知らせして、人数が多かったところを日程とさせていただきますと思います。

それから、今日の会議録の件ですけれども、今、全部録音という形でやっております。会議録ができましたら、一回、会議録案として皆さんにメール添付で送らせていただきます。そのときに、うまく録音されていればいいのですけれども、やっぱり拾えないこととかもありますので、ちょっと見ていただいて、もし御自分の発言で欠けているところがあれば、すみません、加筆訂正等をお願いいたします。赤で直していただき、事務局でそれを反映させて、最終的な会議案として次回会議で皆さんに了承されれば、市のホームページのほうで公開をさせていただくようになります。

ここの会場だけじゃなくて、おうちに行ってから作業になって申し訳ありませんが、会議案ができましたらそちらのほう、御自分の発言にお目通しされて、足りない部分だけ加筆訂正していただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。事務局からは以上です。

○山岸会長 ありがとうございました。それでは、そのように準備を進めていただきたいと思います。

以上をもちまして、令和4年度第1回の食育推進会議を終了いたします。皆さん、本日はありがとうございました。

— 了 —